

The 11th Cherry Blossom Symposium

(第 11 回チェリーブLOSSAMシンポジウム)

—International Conference of

Clinical Laboratory Automation and Robotics—

(臨床検査の自動化とロボット化に関する国際シンポジウム)

募 金 趣 意 書

大会長 諏訪部 章

岩手医科大学医学部臨床検査医学 教授

趣 意 書

謹啓 初秋の候 貴社におかれましては益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。平素より臨床検査に対しまして、深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、検体搬送を中心とした臨床検査のトータルシステム化の領域では日本が世界のパイオニアとして、その発展、普及に貢献してきました。このシステムをより一層世界に広めるため、高知大学医学部附属病院検査部初代教授の故佐々木匡秀先生を中心として、1998年より“Cherry Blossom Symposium”と題した

臨床検査の自動化に関する国際シンポジウムが企画され、世界から多数の参加者を集めてきました。2年毎のシンポジウムで、2000年には佐賀（只野寿太郎 大会長）、2002年には浜松（菅野剛史 大会長）、2004年には東京（五味邦英 大会長）、2006年にはソウル（Jin Q Kim 大会長）、2008年には神戸（杉浦哲朗 大会長）、2010年には横浜（前川真人 大会長）、2012年には再びソウル（Won-Ki Min 大会長）、2014年には横浜（尾崎由基男 大会長）、2016年には第10回の節目の大会がソウル（Junghan Song 大会長）で盛大に開催されました。次回の第11回大会は2018年4月に盛岡で開催いたします。

本国際シンポジウムは、日韓を中心とし、アメリカ・ヨーロッパ・アジア・日本等の世界各国から参加者が集まり、世界における臨床検査の自動化・システム化の現状と将来展望について討議を深め、明日の臨床検査、特に検査自動化の更なる飛躍を目指すものであります。前回のソウルでの第10回大会では、22の国から335人が参加しました。自動化の先進国である我国が、いかに世界に貢献できるか、また将来はいかなる方向に進むべきかを真剣に討論したいと考えております。

このような構想のもと、本シンポジウムを是非とも成功させたく、現在開催に向けて関係者一同準備に取り組んでいるところであります。時節柄大変厳しい経済事情の折、誠に恐縮ではございますが、貴社におかれましては本会の趣旨をご理解いただきまして、シンポジウム運営のため何分のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

平成 29 年 吉月 吉日

第 11 回 Cherry Blossom Symposium

大会長 諏 訪 部 章

(岩手医科大学医学部臨床検査医学 教授)

Cherry Blossom Symposium 協議会

会 長 杉 浦 哲 朗

(土佐市民病院 名 誉 院 長)



1. 会議の名称

The 11th Cherry Blossom Symposium

—International Conference of Clinical Laboratory Automation and Robotics—

URL : <http://www.cbs-labauto.com>

2. 主催機関の名称

主 催：チェリーブLOSSAMシンポジウム協議会

Society of Cherry Blossom Symposium

会 長：杉浦 哲朗（土佐市民病院 名誉院長）

第 11 回大会長：諏訪部 章（岩手医科大学医学部 臨床検査医学講座）

3. 開催期間・場所

期間：平成 30 年（2018 年）4 月 19 日（木）～4 月 21 日（土） 3 日間

場所：ホテルメトロポリタン盛岡・ニューウイング

（〒020-0033 岩手県盛岡市盛岡駅前北通 2-27）

4. 会議の目的と開催意義

近年における臨床検査の領域は、化学・工学・医療技術および情報システムの進歩と総合的ラボラトリー・オートメーションの導入によって、その形態と内容は様変わりしてきました。現在では、自動分析機、搬送システム、コンピュータシステムのいずれもが、総合的臨床検査システムに必要な不可欠なコンポーネントとなっており、さらに最近では人工知能（AI）の臨床検査をはじめとする医療への応用が急速に進んでおり、医療における臨床検査の内容が大きく変化しつつあります。

このシンポジウムは臨床検査領域を含めた自動化と IT 化に関する現状と問題点、将来展望に加え、これからの臨床検査のありかたを追及、模索するものであります。第一線で活躍している世界各国の医師、臨床検査技師、研究者、システムエンジニアに加え、機器試薬メーカーの方々が参加します。従って、検査機器・試薬会社の方々にとりましては、日本にいて世界各国の臨床検査関係の人々が如何に考え、何をしようとしているかを直接聞けるチャンスと考えます。一人でも多くの方に参加いただき、一緒に討議していただければ、明日の我が国のトータル・ラボラトリー・オートメーション（TLA）を更に飛躍発展させる最高の機会となると信じております。

とりわけ、臨床検査の自動化に関する国際学会が日本で開催される機会は少なく、その意味で、この領域の先進国である我国での TLA を世界の関係者に直接披露すると同時に、現在直面する問題点を討議し、明日の臨床検査を模索することにあります。また、今後更なる展開を触発するような研究開発の発表など、広範囲の分野から募っております。情報収集のために役立つものと考えています。ポスター発表の一般演題も第 10 回大会にひきつづいて募集いたします。

5. 会議の計画の概要

(1) 主要題目

Clinical Laboratory Automation - A bridge over the next two decades -

臨床検査の自動化 ～次の 20 年への架け橋～

(2) 会議の構成

- ・主要題目に関する特別講演 1 題

「いわて東北メディカルメガバンクの進捗状況と今後（仮題）」

いわて東北メディカルメガバンク機構 機構長

岩手医科大学 医歯薬総合研究所 教授

佐々木 真理 氏

- ・主要題目に関する招待講演 1 題

「人工知能 (AI) によってもたらされる臨床検査の将来（仮題）」

日本 IBM Watson 事業部ヘルスケア事業開発部 部長 溝上敏文 氏

- ・主要題目に関するシンポジウム 5 題による講演と討論
- ・主要題目に関する企業ワークショップ/セッション 4 題による講演と討論
- ・主要題目に関する一般演題ポスターセッション
- ・企業展示

(3) 日 程

世界的に著名な専門家により、検査室自動化と最新の技術についての話題を提供していただき、質疑応答を行います。

	午前	午後	その他
4 月 19 日 (木)		サイトツアー	ボード会議
4 月 20 日 (金)	シンポジウム 1 特 別 講 演	シンポジウム 2・3 ポスターセッション *1 企業ワークショップ 1 *2 企業セッション 1	Welcome Party
4 月 21 日 (土)	シンポジウム 4 招 待 講 演	シンポジウム 4・5 *1 企業ワークショップ 2 *2 企業セッション 2	

*1 企業ワークショップはランチョンセミナー形式、*2 企業セッションは各社 10 分～15 分（応募数により変更があります）の機器・試薬セミナー形式を想定しています。

- (4) 参加費 一般：25,000 円、臨床検査技師：15,000 円、学生：7,500 円

(5) 参加予定国（これまでの開催実績より）

アメリカ、カナダ、オーストラリア、イギリス、イタリア、オランダ、ドイツ、スイス、デンマーク、フィンランド、フランス、ベルギー、ルクセンブルグ、ユーゴスラビア、トルコ、インド、タイ、マレーシア、フィリピン、シンガポール、モンゴル、中国、香港、韓国、台湾、日本、以上 26 カ国

- (6) 参加予定者数： 国外 50 名 + 国内 250 名 = 計 300 名

(7) これまでの開催実績

1st Cherry Blossom Symposium

会 長：佐々木 匡秀（前高知医科大学臨床検査医学 教授）
会 期：1998年3月29日～4月1日
会 場：高知市（高知ロイヤルホテル）

2nd Cherry Blossom Symposium

会 長：只野 壽太郎（前佐賀医科大学臨床検査医学 教授）
会 期：2000年4月5日～4月7日
会 場：唐津市（唐津ロイヤルホテル）

3rd Cherry Blossom Symposium

会 長：菅野 剛史（前浜松医科大学 副学長）
会 期：2002年4月3日～4月5日
会 場：浜松市（浜松名鉄ホテル）

4th Cherry Blossom Symposium

会 長：五味 邦英（昭和大学医学部臨床病理 教授）
会 期：2004年4月23日～4月24日
会 場：東京都（ホテルパシフィック東京）

5th Cherry Blossom Symposium

会 長：Jin Q Kim（Seoul National University Hospital Professor）
会 期：2006年4月12日～4月14日
会 場：韓国ソウル（Sheraton Walkerhill Hotel）

6th Cherry Blossom Symposium

会 長：杉浦 哲朗（高知大学医学部病態情報診断学 教授）
会 期：2008年4月18日～4月19日
会 場：神戸市（神戸商工会議所）

7th Cherry Blossom Symposium

会 長：前川 真人（浜松医科大学医学部臨床検査医学 教授）
会 期：2010年4月16日～4月17日
会 場：横浜市（横浜シンポジア）

8th Cherry Blossom Symposium

会 長：Won-Ki Min（University of Ulsan AMC Professor）
会 期：2012年4月12日～4月13日
会 場：韓国ソウル（Mayfield Hotel）

9th Cherry Blossom Symposium

会 長：尾崎 由基男（山梨大学医学部臨床検査医学 教授）
会 期：2014年4月17日～4月19日
会 場：横浜市（横浜赤レンガ倉庫 1号館）

10th Cherry Blossom Symposium

会 長：Junghan Song（Seoul Natl. Univ. Bundang Hospital Professor）
会 期：2016年4月20日～4月22日
会 場：韓国ソウル（GLAD Hotels）

6. 経費の調達及び寄付金を必要とする理由

本シンポジウムは、海外から 50 名、国内から 250 名の参加を予定しており、開催の準備、運営に関する経費は予定総額約 2,300 万円と計上しています。アメリカ合衆国及びヨーロッパ各国からのシンポジストや講演者には出来るだけ参加可能な計らいをしました。さらに、できるだけ多くの国々の研究者と交流するために、近接のアジア諸国からの参加者に対しても同様の計画をしています。

従って、必要経費の一部を諸団体及び諸会社の浄財によるご援助に頼らざるを得ないのが実情です。学会運営に要する予算総額約 2,300 万円のうち、参加登録費、抄録広告、展示、企業セミナー協賛費を除いた 1,100 万円を寄付金・助成金によって充当したいと考えております。

誠に恐縮の至りではありますが、本シンポジウムを成功させるため何卒ご支援賜りますようお願い申し上げます。

7. 収支計画書 (案)

収 入 (円)		支 出 (円)	
1. 参加登録費	4,900,000	1. 会場費・付設費	4,300,000
学 生(20人×7,500円)		2. 運営機材費	540,000
技 師(100人×15,000円)		3. 関連行事費	2,170,000
その他(130人×25,000円)		4. 人件費	1,425,000
2. 広告収入	2,200,000	5. 事務局費	420,000
20社×100,000円		6. 会議費	200,000
4社×50,000円		7. 通信連絡費	330,000
3. 展示収入	2,400,000	8. 印刷費	2,300,000
12社×200,000円		9. 同時通訳料	2,000,000
4. 企業セミナー	2,500,000	10. 招聘費	7,500,000
10社×250,000円		11. 旅 費	800,000
5. 寄付金・助成金	11,000,000	12. 謝 礼	1,000,000
		13. 予備費	15,000
	23,000,000		23,000,000

8. 第11回チェリーブLOSSAMシンポジウム大会運営委員会

大会長：	諏訪部 章	(岩手医科大学医学部 臨床検査医学講座)
ボードメンバー：	杉浦 哲朗	(土佐市民病院)
	尾崎由基男	(笛吹中央病院)
	前川 真人	(浜松医科大学医学部 臨床検査医学講座)
	武田 京子	(聖路加国際病院 臨床検査科)
	林 正好	(シスメックス株式会社)
	三坂 成隆	(株式会社エイアンドティ)
	實吉 政知	(株式会社テクノメディカ)
	Won-Ki Min	(韓国・University of Ulsan College of Medicine)
	Junghan Song	(韓国・Seoul National University Bundang Hospital)
	Sail Chun	(韓国・University of Ulsan College of Medicine)
プログラム委員： (あいうえお順)	石井 潤一	(藤田保健衛生大学医学部 臨床検査科)
	賀来 満男	(東北大学大学院医学研究科 内科病態学講座)
	萱場 広之	(弘前大学大学院医学研究科 臨床検査医学講座)
	康 東天	(九州大学病院 検査部)
	北島 勲	(富山大学大学院医学薬学研究部 臨床分子病態検査学講座)
	小柴 賢洋	(兵庫医科大学 臨床検査医学講座)
	志村 浩己	(福島県立医科大学 臨床検査医学講座)
	谷 直人	(国際医療福祉大学熱海病院 検査部)
	高橋伸一郎	(東北医科薬科大学医学部 臨床検査医学)
	東條 尚子	(三楽病院臨 床検査科)
	通山 薫	(川崎医科大学 検査診断学)
	廣川 誠	(秋田大学大学院医学系研究科 総合診療・検査診断学講座)
	本田 孝行	(信州大学医学部 病態解析診断学)
	宮地 勇人	(東海大学医学部 基盤診療学系臨床検査学)
	村上 正巳	(群馬大学大学院医学研究科 臨床検査医学)
	村田 満	(慶応義塾大学医学部 臨床検査医学)
	森兼 啓太	(山形大学医学部附属病院 検査部)
	矢富 裕	(東京大学大学院医学研究科 臨床病態検査医学)
	柳原 克紀	(長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 病態解析・診断学分野)
	山田 俊幸	(自治医科大学 臨床検査医学)
	和田 隆志	(金沢大学大学院先進予防医学研究科 腎病態統御学)
	Sunil Sethi	(シンガポール・National University Hospital)
	顧問：	只野壽太郎
事務局：	鈴木啓二朗	(岩手医科大学医学部 臨床検査医学講座)
	行森 良一	(岩手医科大学附属病院 中央臨床検査部)

寄付金募集要項

1) 募金の名称

The 11th Cherry Blossom Symposium

2) 募金の目標額

¥11,000,000 円

3) 募金の期間

平成 29 年 9 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日

4) 募金の使途

平成 30 年 4 月 19 日～21 日、盛岡市において開催される
The 11th Cherry Blossom Symposium の費用に充てる

5) 寄付金募集責任者

The 11th Cherry Blossom Symposium 大会長 諏訪部 章

6) 寄付金申込先

〒409-3898 岩手県盛岡市内丸 19-1 岩手医科大学医学部臨床検査医学講座
第 11 回チェリーブLOSSAMシンポジウム 大会長 諏訪部 章
TEL 019 (651) 3249 FAX 019 (624) 5030

7) 寄付金振込先

名 義 : CHERRY BLOSSOM SYMPOSIUM 2018 会長 諏訪部 章
(カ ナ : CHERRY BLOSSOM SYMPOSIUM 2018 カイチョウ スワベ アキラ)
銀行名 : みずほ銀行
支店名 : 盛岡支店
店 番 : 7 3 2
口座番号 : 普通 1 3 2 5 7 2 0

8) 本シンポジウムに関するお問い合わせ先

〒020-8505 岩手県盛岡市内丸 19-1 岩手医科大学医学部臨床検査医学講座
第 11 回チェリーブLOSSAMシンポジウム
事務局長 鈴木啓二郎 行森良一
TEL 019 (651) 5111 内線 (3249) FAX 019 (624) 5030
Mail : soc-cbs2018-office@iwate-med.ac.jp URL : <http://www.cbs-labauto.com>

9) コース別募金額と特典事項

①ダイヤモンド (300万円)

- ・企業共催シンポジウム
- ・ランチョンセミナー or 企業セッション*
- ・展示 (一小間×4)
- ・広告費用 (バナー広告**、抄録集 A4 判広告)
- ・参加人数 10 名様無料

②プラチナ (200万円)

- ・企業共催シンポジウム
- ・企業セッション*
- ・展示 (一小間×3)
- ・広告費用 (バナー広告*、抄録集 A4 判広告)
- ・参加人数 7 名様無料

③ゴールド (100万円)

- ・企業セッション*
- ・展示 (一小間×2)
- ・広告費用 (バナー広告*、抄録集 A4 判広告)
- ・参加人数 5 名様無料

④シルバー (50万円)

- ・展示 (一小間×2)
- ・広告費用 (バナー広告*、抄録集 A4 判広告)
- ・参加人数 3 名様無料

⑤ブロンズ (30万円)

- ・展示 (一小間×1)
- ・広告費用 (バナー広告*、抄録集 A4 判広告)
- ・参加人数 1 名様無料

*企業セッションは、プレゼンテーション形式による機器・試薬の紹介が可能です。応募数により割当時間が異なります。

**バナー広告は、本シンポジウム公式サイトのスポンサーページにコース別にメーカー名を掲載し、各社の指定するページにリンクを貼ることができます。

※寄付のみ、展示のみ、広告のみの申し込みも可能です。

※展示、ランチョンセミナー、企業セッション、広告の詳細については、後日連絡させていただきます。

FAX 送信先 : 019 (624) 5030

The 11th Cherry Blossom Symposium

寄付金申込書

The 11th Cherry Blossom Symposium

大会長 諏訪部 章 殿

コース (いずれかに○をつけてください)

ダイヤモンド ・ プラチナ ・ ゴールド ・ シルバー ・ ブロンズ ・ 寄付のみ

_____ 金 _____ 円也

募金の趣意に賛同し、上記金額を The 11th Cherry Blossom Symposium 開催資金として寄付いたします。

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

貴社名 : _____

ご所属 : _____

ご芳名 : _____

ご住所 : 〒 _____

TEL _____ FAX _____

Mail _____

払込期日 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日頃払込予定

請求書 (必要 ・ 不要) 領収書 (必要 ・ 不要)

お問い合わせ先

〒020-8505 岩手県盛岡市内丸 19-1

岩手医科大学医学部臨床検査医学講座

第 11 回チェリーブLOSSAMシンポジウム

事務局長 鈴木啓二郎、行森良一

事務局会計 山田友紀、菊地福美

TEL 019 (651) 5111 内線 (3249) FAX 019 (624) 5030

Mail : soc-cbs2018-office@iwate-med.ac.jp URL : <http://www.cbs-labauto.com>

広告・展示募集

■ 募集内容

(1) 広告掲載（抄録集）

- 料 金： 100,000 円（広告サイズは A4 判です）
50,000 円（広告サイズは A4 判ハーフです）
- ・発行予定部数： 500 部
 - ・基本的には英文が望ましいですが和文でも結構です。
 - ・締切日 2018 年 1 月 15 日

(2) 展 示

- 料 金： 200,000 円
- ・基礎一小間
 - ・電源等は、別途料金となります。
 - ・締切日 2018 年 1 月 15 日

■ 申込み・支払方法

下記の申込み記入欄に必要事項をご記入の上、FAX にてお申し込みください。
FAX 送付後、下記口座に代金をお振込みください。

■ 申込み先

〒020-8505 岩手県盛岡市内丸 19-1
岩手医科大学医学部臨床検査医学講座
第 11 回チェリーブLOSSAMシンポジウム 大会長 諏訪部 章
TEL 019 (651) 3249 FAX 019 (624) 5030

■ 振込先

名 義：CHERRY BLOSSOM SYMPOSIUM 2018 会長 諏訪部 章
(カ ナ：CHERRY BLOSSOM SYMPOSIUM 2018 カイチョウ スワベ アキラ)
銀行名：みずほ銀行 支店名：盛岡支店
店 番：732 口座番号：普通 1325720

■ お問合せ先

〒020-8505 岩手県盛岡市内丸 19-1
岩手医科大学医学部臨床検査医学講座
第 11 回チェリーブLOSSAMシンポジウム
事務局長 鈴木啓二郎、行森良一
事務局会計 山田友紀、菊地福美
TEL 019 (651) 5111 内線 (3249) FAX 019 (624) 5030
Mail: soc-cbs2018-office@iwate-med.ac.jp URL: <http://www.cbs-labauto.com>

FAX 送信先 : 019 (624) 5030

The 11th Cherry Blossom Symposium

広告申込書

The 11th Cherry Blossom Symposium

大会長 諏訪部 章 殿

広告掲載申込み記入欄

第 11 回 チェリーブLOSSAMシンポジウムの広告掲載を希望します。

希望サイズ (希望サイズを○で囲んでください)

- 100,000 円 (A4 判)
- 50,000 円 (A4 判ハーフ)

平成 年 月 日

貴社名 : _____

ご所属 : _____

ご芳名 : _____

ご住所 : 〒 _____

TEL _____ FAX _____

Mail _____

払込期日 平成 年 月 日頃払込予定

請求書 (必要 ・ 不要) 領収書 (必要 ・ 不要)

お問い合わせ先

〒020-8505 岩手県盛岡市内丸 19-1

岩手医科大学医学部臨床検査医学講座

第 11 回チェリーブLOSSAMシンポジウム

事務局長 鈴木啓二郎、行森良一

事務局会計 山田友紀、菊地福美

TEL 019 (651) 5111 内線 (3249) FAX 019 (624) 5030

Mail : soc-cbs2018-office@iwate-med.ac.jp URL : <http://www.cbs-labauto.com>

FAX 送信先 : 019 (624) 5030

The 11th Cherry Blossom Symposium

出展申込書

The 11th Cherry Blossom Symposium

大会長 諏訪部 章 殿

出展申込み記入欄

第 11 回 チェリーブロッサムシンポジウムで出展を希望します。

希望小間数 : (_____) 小間 × 200,000 円 = (_____ 円)

平成 年 月 日

貴社名 : _____

ご所属 : _____

ご芳名 : _____

ご住所 : 〒 _____

TEL _____ FAX _____

Mail _____

払込期日 平成 年 月 日頃払込予定

請求書 (必要 ・ 不要) 領収書 (必要 ・ 不要)

お問い合わせ先

〒020-8505 岩手県盛岡市内丸 19-1

岩手医科大学医学部臨床検査医学講座

第 11 回チェリーブロッサムシンポジウム

事務局長 鈴木啓二郎、行森良一

事務局会計 山田友紀、菊地福美

TEL 019 (651) 5111 内線 (3249) FAX 019 (624) 5030

Mail : soc-cbs2018-office@iwate-med.ac.jp URL : <http://www.cbs-labauto.com>